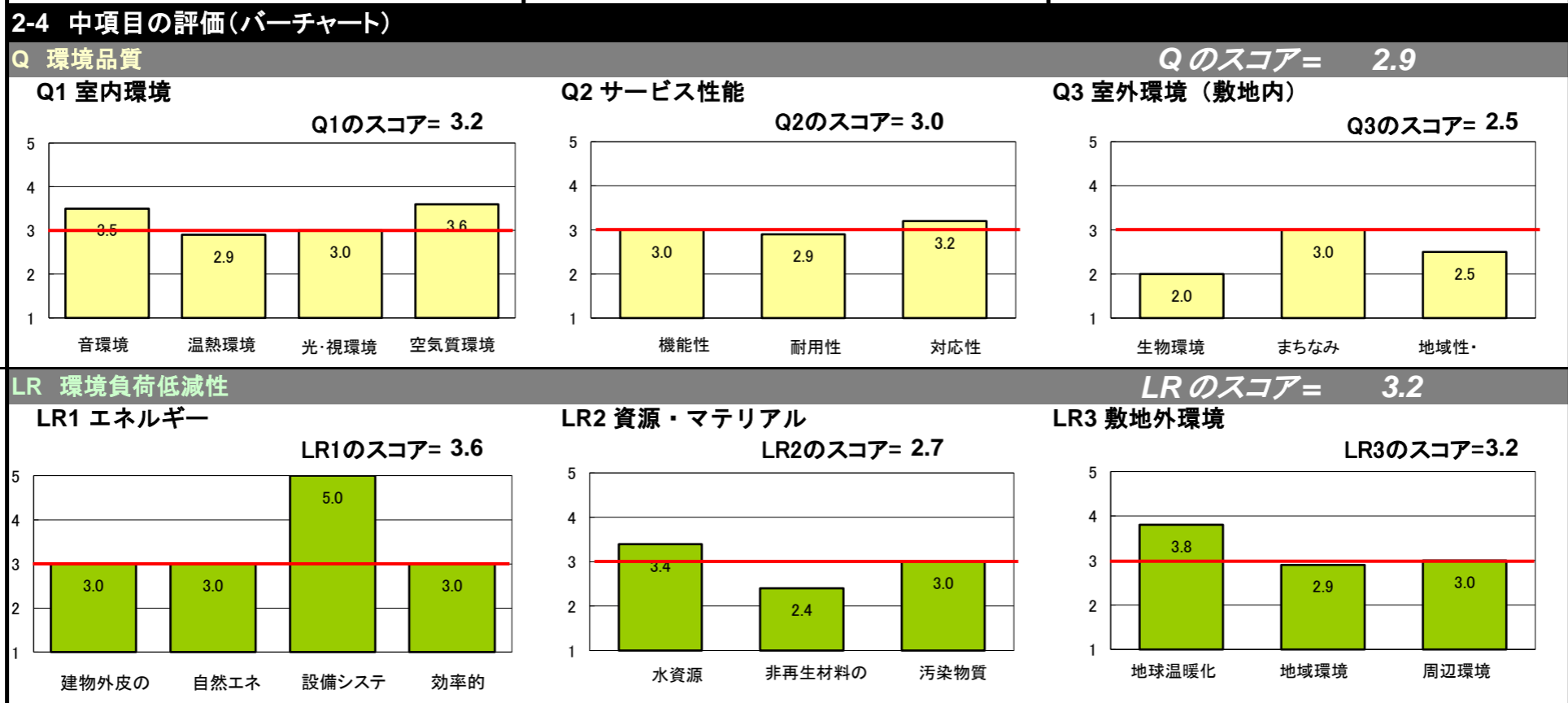
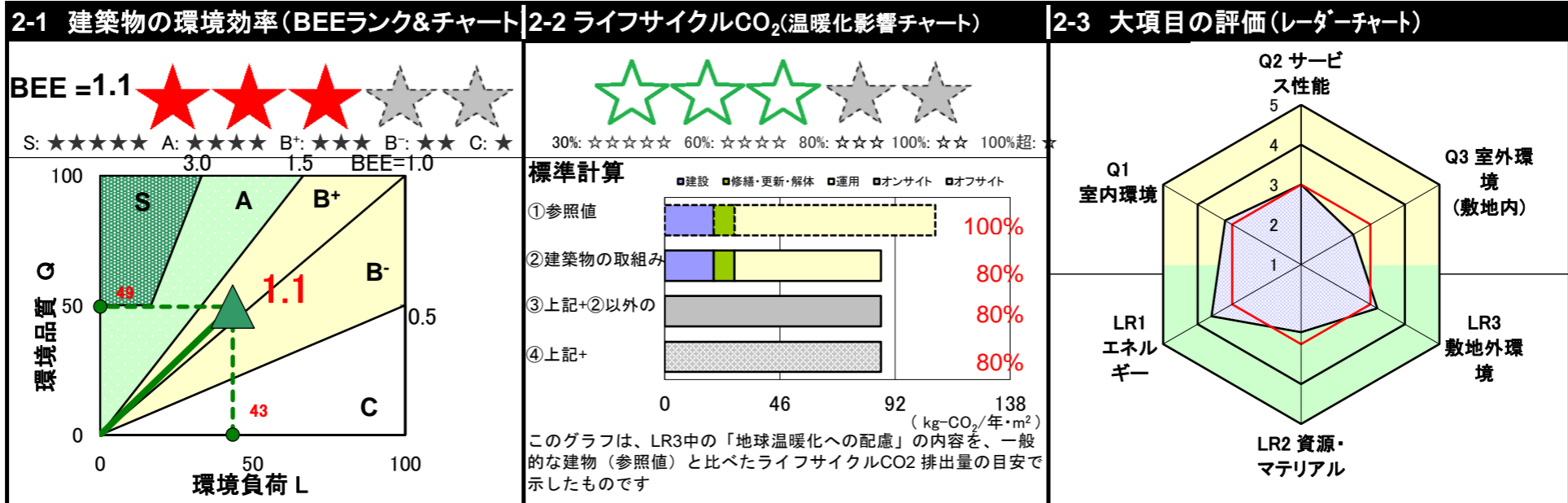


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)モアグレース春日井角崎町	階数	地上13F
建設地	愛知県春日井市角崎町86番1	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	196 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年10月18日
敷地面積	1,625 m ²	作成者	横川 嘉之
建築面積	506 m ²	確認日	2019年10月18日
延床面積	4,749 m ²	確認者	横川 嘉之



3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">3.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>9.0 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	9.0 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	9.0 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">2.6</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート	実施設計段階	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部						全体
				建物全体・共用部	建物全体・共用部	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	
配慮項目				評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境						0.40			-	3.2
1 音環境				0.1	4.0	0.15	3.4	3.4	1.00	3.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.50		3.0	0.50	
1.2 遮音				0.5	5.0	0.50		3.8	0.50	
1 開口部遮音性能			遮音性能T-2建具の採用		5.0	1.00		5.0	0.30	
2 界壁遮音性能					3.0	-		3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-		3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			Lr-50 ボイドスラブ工法の採用		3.0	-		4.0	0.20	
1.3 吸音										
2 温熱環境				0.3	2.6	0.35	3.0	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.71	
1 室温				3.0	3.0	0.63		-	-	
2 外皮性能				3.0	3.0	0.38		3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性				3.0		-			-	
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20		3.0	0.29	
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30		-	-	
3 光・視環境				0.2	2.3	0.25	3.3	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用				0.3	1.8	0.30	4.0	4.0	0.30	
1 昼光率			LDIに大きな開口部を設置	3.0	1.0	0.60		5.0	0.50	
2 方位別開口						-		3.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	3.0	0.40		3.0	0.20	
3.2 グレア対策				0.3	2.0	0.30	3.0	3.0	0.30	
1 昼光制御				5.0	2.0	1.00		3.0	1.00	
3.3 照度				3.0	3.0	0.15		3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.25		3.0	0.25	
4 空気質環境				0.2	3.6	0.25	3.6	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆建築材料を使用	3.0	4.0	1.00		4.0	1.00	
4.2 換気				0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0		-		3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視				3.0		-			-	
2 喫煙の制御				3.0		-			-	
Q2 サービス性能						0.30				3.0
1 機能性				0.4	2.4	0.40	3.2	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	4.0	4.0	0.60	
1 広さ・収納性			全住戸100Mbpsの回線速度対応可	3.0		-			-	
2 高度情報通信設備対応				3.0		-		4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		独自		3.0	3.0	1.00			-	
1.2 心理性・快適性				0.3	1.0	0.30	2.0	2.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0		-		3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0		-			-	
3 内装計画				3.0	1.0	1.00		1.0	0.50	
1.3 維持管理				0.3	3.0	0.30			-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	3.0	0.50			-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50			-	
2 耐用性・信頼性				0.3	2.9	0.31				2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33				
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.23				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②			3.0	0.23				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.09				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.08				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.15				
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.23				
2.4 信頼性				0.1	2.8	0.19				
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20				
5 通信・情報設備		②		3.0	3.0	0.20				

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	3.3	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				-	-	-	3.6	3.6	0.50	
1	階高のゆとり		階高2.91m	-	-	-		4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	-	-		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				1.0	3.0	1.00		-	-	
1	空調配管の更新性	②		-	3.0	0.17		-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17		-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11		-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11		-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22		-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-		-	-	3.2
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	3.0	0.33		-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.17		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI値=0.79	3.0	5.0	0.33		-	-	5.0
4 効率的運用				0.1	3.0	0.17		-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-		-	-	
4.1	モニタリング			3.0	-	-		-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-		-	-	
集合住宅の評価				1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング			-	3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制			-	3.0	0.50		-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	2.7
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水			節水型便器を採用	3.0	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	1.00		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	-	-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.4	0.63		-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	2.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			接着剤・シーリング材など、指定化学物質を含まない建材の採用	3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68		-	-	
1	消火剤			-	-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50		-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値:80%	-	3.8	0.33		-	-	3.8
2 地域環境への配慮				0.3	2.9	0.33		-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制	独自	駐車場を適正台数確保	-	4.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40		-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	1.00		-	-	
2	振動	独自		-	-	-		-	-	
3	悪臭			-	-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40		-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制			-	1.0	-		-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70		-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30		-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)モアグレース春日井角崎町

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				2.6
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)モアグレース春日井

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・設計性能評価における断熱等級3や潜熱回収型給湯器・節水型衛生器具を採用したエコ住宅をコンセプトとした。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・遮音性能T-2 ・断熱等性能等級3 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F☆☆☆☆材を採用
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスキーム等による内装計画の事前検討 ・共用部維持管理対策等級2
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮した建物配置、外観デザインとし、景観創出に努めた。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅性能評価 断熱等級3 ・潜熱回収型給湯器を採用
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型衛生器具の採用
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルCO2削減に配慮 ・敷地内に自転車置場、駐車を住戸数分以上確保した。
その他	